

景気観測調査モニター事業所
ご担当者各位

岡山商工会議所

令和5年1～3月期
景気観測調査の結果について（ご報告）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ご協力を頂いております標記調査について結果を取りまとめましたので、下記のとおり報告させていただきます。

記

1. 調査概要

- ・調査対象：県下商工会議所会員企業 586 社
- ・調査時期：3/1～3/15
- ・有効回答数：531 社（回収率 90.9%）

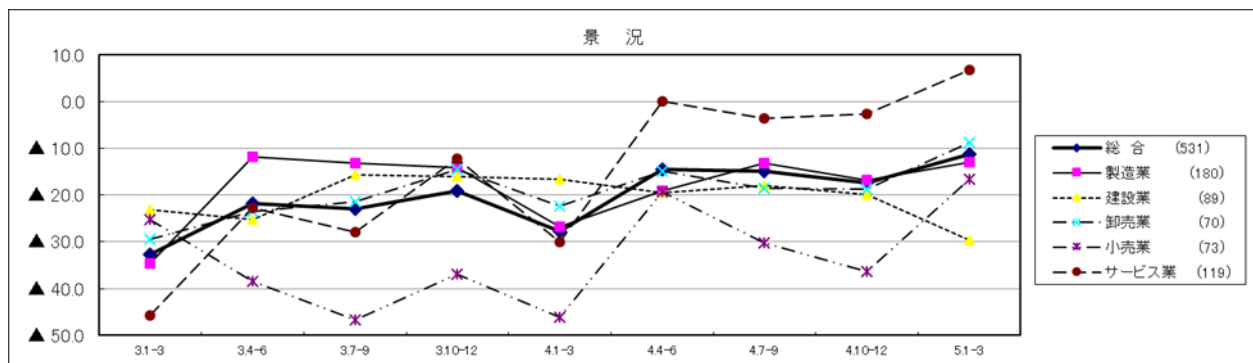
2. 令和5年1～3期「景況概要」

「仕入価格の上昇が足かせとなるも、経済活動の本格化で景況DIは3期ぶりの改善」

景況全体では、前年同期（令和4年1～3月）と比べて、「好転」から「悪化」を差し引いた総合DI値は▲11.2となり、前期に比べ6.1ポイント上昇し、3期ぶりの改善となった。サービス業では、経済活動の再開を受けて飲食・宿泊が大きく改善したことなどからDI値がマイナスからプラスへ転換し、製造業、卸売業、小売業においてもマイナス幅が縮小し改善した一方で、建設業では、マイナス幅が拡大した。仕入価格の上昇は5期続けて調査開始以来最悪を記録しており、厳しい経営環境が続いているものの、新型コロナの影響は緩和され、経済活動の本格化は今後も加速していくと考えている。しかしながら、人手不足の傾向が強まっていることや、新型コロナ対応の無利子・無担保のいわゆる「ゼロゼロ融資」の返済が多く企業の始まることなどから、地域経済の先行きは予断を許さないと考えている。

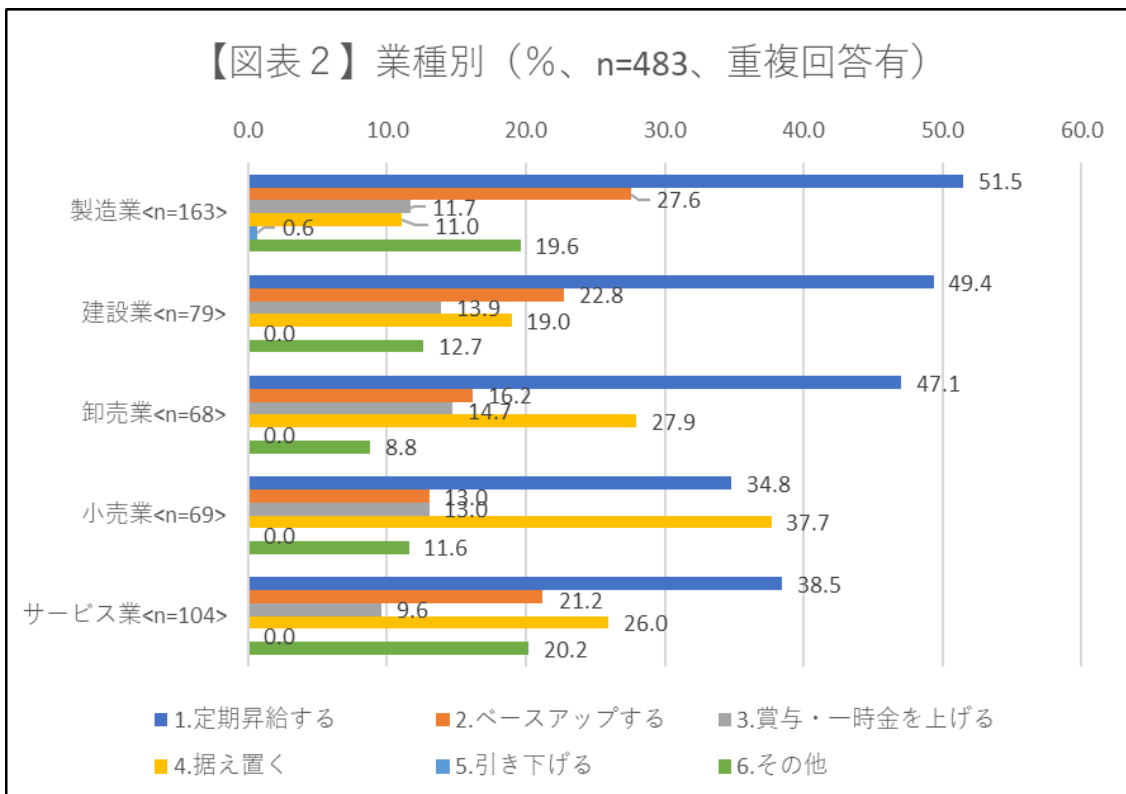
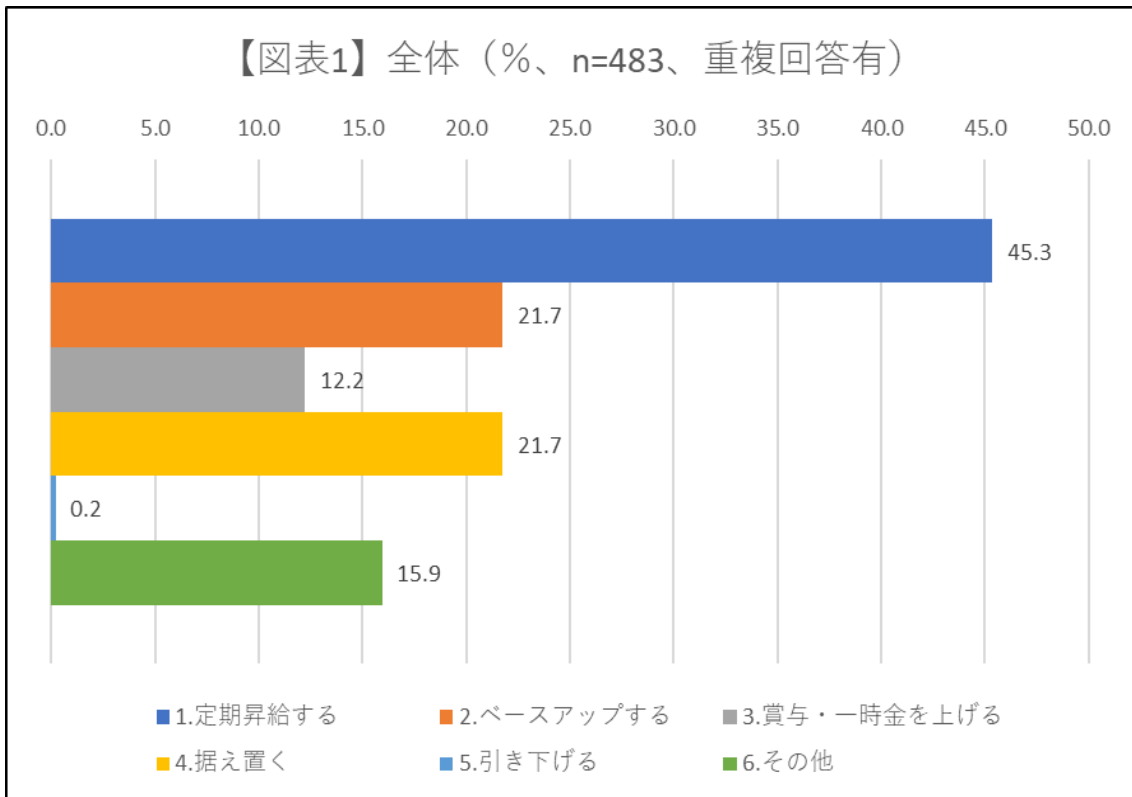
※DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が多いことを示す。

DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

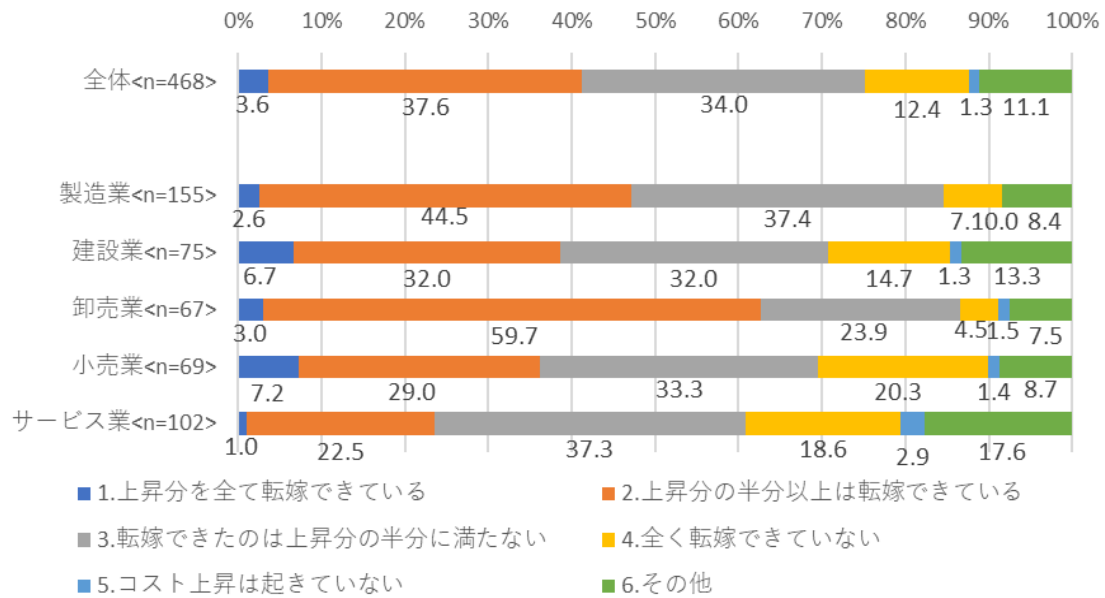


景況	3.1-3	3.4-6	3.7-9	3.10-12	4.1-3	4.4-6	4.7-9	4.10-12	5.1-3	今期-前期
総合 (531)	▲32.6	▲21.8	▲22.9	▲19.0	▲27.7	▲14.5	▲15.0	▲17.3	▲11.2	6.1
製造業 (180)	▲34.6	▲11.7	▲13.1	▲14.0	▲26.7	▲19.1	▲13.2	▲16.8	▲12.9	3.9
建設業 (89)	▲23.1	▲25.3	▲15.7	▲16.1	▲16.7	▲19.5	▲18.0	▲19.8	▲29.5	▲9.7
卸売業 (70)	▲29.4	▲23.5	▲21.4	▲14.5	▲22.4	▲14.9	▲18.5	▲18.8	▲8.7	10.1
小売業 (73)	▲25.3	▲38.5	▲46.8	▲37.0	▲46.2	▲19.2	▲30.1	▲36.4	▲16.7	19.7
サービス業 (119)	▲45.7	▲22.7	▲27.8	▲12.3	▲30.1	0.0	▲3.5	▲2.6	▲6.8	9.4

3. 付帯調査：賃上げの見通しと価格転嫁の状況について



【図表3】 価格転嫁の状況について
(%、業種別)



【図表4】 賃上げと価格転嫁の相関について

